

# 8.これからのエネルギー

自然エネルギーをすすめる我孫子の会

## 1 エネルギー消費実態

### 我孫子市の年間消費エネルギー費用

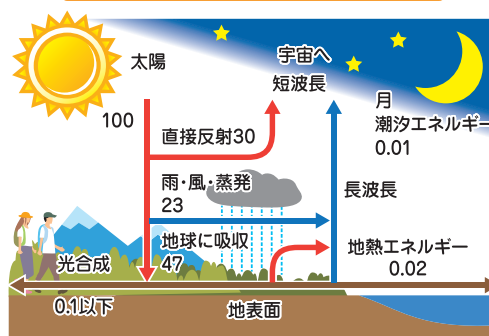
年間の家庭・業務・産業部門を含めたすべての光熱費用は  
**約225億円**

### 1日当たりのエネルギー消費量の推移

時代	消費量(kcal/人・日)
原始人(約100万年前)	2,000
狩猟人(約10万年前)	5,000
初期農業人(BC 5,000年)	12,000
高度農業人(1400年代)	26,000
産業人(1870年代)	77,000
現代人 *現在使用しているエネルギー量は膨大 *省エネルギーの必要性を強く要望	<b>200,000</b>

## 2 地球上のエネルギー

### 地球のエネルギーバランス



### 地球上のエネルギー資源

- 太陽エネルギー** 圧倒的な量
- 地熱エネルギー** 手軽に利用(身近な温泉利用など)
- 潮汐エネルギー** 有効利用が待たれる(月と太陽の引力による潮の満ち引き)

## 3 再生可能エネルギーの利用

### 再生可能エネルギーとは?

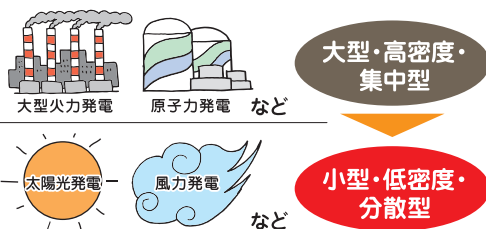
- リニューアブル(Renewable)エネルギー-自然エネルギーとも呼ばれる
- Renewable「尽きることなく使える」の意味

**Re(再) New(新) Able(能力)**

### 再生可能エネルギーの条件

- 入手しやすい** 豊富で経済的
- 使いやすい** 良質で供給の信頼性が高い
- 受け入れやすい** 安全性が高く環境負荷が低い

### 集中型から分散型への移行



## 4 東葛地域市民発電所 第1号の設置

### 市民発電所第1号



東葛地区市民発電所第1号  
(定格発電容量11kW)

**発電所名**  
NPO法人木の子クラブ我孫子「ひの木」  
我孫子市湖北台3-4-7  
設置場所:障がい者支援施設の屋根に太陽光パネル設置

### 環境・エネルギーコミュニティの構築

- 自然エネルギーは市民の貴重な財産
- エネルギーの地産・地消
- 市民参加によるエネルギー供給システム
- ヒト・カネ・モノ循環型地域社会の実現

# 自然エネルギーをすすめる我孫子の会

会長 谷 辰夫  
電話 04-7185-1484  
事務局 我孫子市役所  
手賀沼課  
住所 我孫子市  
高野山新田193  
水の館3階

市民と我孫子市が協働して、地域固有にある自然エネルギーを有効に活用して「脱炭素社会」を進めます。また、省エネと創エネによる街づくりを目指して、2015年11月から活動しています。2017年6月には、当会の有志によって発電事業を行う「一般社団法人 あびこ自然エネルギー」を設立しました。2021年8月には、市民の志金(寄付・出資)で太陽光PV設備の市民発電所第1号を我孫子市湖北台に設置し、発電を開始しています。今後は我孫子市の「ゼロカーボンシティ宣言」(2020年7月)を踏まえ、自家消費型の発電設備を基本に、自然エネルギーの普及促進と脱炭素化を目指します。